

第2回講演会

外国にルーツを持つ子どもたちへの支援の現状と課題

日時：2022年4月9日(土) 15:00-17:00

場所：麗澤大学 2505教室

講演

相良 好美（千葉大学グローバルプロミネント研究基幹 特任研究員）

「千葉県における多文化状況と

外国にルーツを持つ子どもたちへの支援」

パネリスト

時原 千恵子（千葉県立市川工業高校定時制相談員支援コーディネーター、元高校教員）

三橋 千恵子（高校教員・多文化フリースクールちば）

藤沢 明美（松戸市日本語ボランティア会・松戸市教育委員会日本語指導支援
スタッフコーディネーター）

コメンテーター

草本 晶（麗澤大学外国語学部）

移民社会を迎えている日本。中でも千葉県は在留外国人住民数が全国6位（2018年、156,058人）と地域の多文化化が著しい。1990年の入管法改正を契機に「多文化共生」のスローガンが掲げられて久しいが、近年は来日・定住する外国人も多様化しつつある。同様に外国ルーツの子どもたちの言語・文化的背景も多様化しており、学校や地域の学習支援教室等もその対応に迫られている。今回は学校内外で子どもたちの日本語教育、学習支援、進路支援などに取り組んできた方々をパネリストに迎え、外国にルーツを持つ子どもたちの支援における現状と課題を整理する。

申込は右のQRコードをお願いします

問い合わせ 山川和彦 kyamakaw*reitaku-u.ac.jp
*を@に変えてください。件名には公開シンポジウム
とお書きください。



講演者紹介 相良好美（さがらよしみ） 千葉大学グローバルプロミネント研究
基幹 特任研究員。近著：「千葉県における地域日本語支援活動と子ども・若者
支援への展開-『あなたの町の日本語教室』を手がかりに-」基礎教育保障学研
究4号、2020年